



目次



新会長より皆様へごあいさつ .....	1
映画会協賛募集のお知らせ .....	2
おふとんプレゼンター & 巣立ちグッズ .....	3
平成 27 年度活動報告 .....	3
平成 27 年度決算報告 .....	4
A good NEWS STORY .....	5
スタッフひとことリレー .....	6
寄付者ご紹介 .....	6

新会長より皆様へごあいさつ

いつもいっぽの会へのご理解と尊いご支援を頂き、誠に有難うございます。  
この度、故浅生隆さんの後任として会長になりました星野公快と申します。  
私と一宮学園との関わりは 7 年前に一宮町へ引っ越してきてからの事でした。

「この大きな建物はいったい何だろう？」

当時サーフィンをしていた私は、一宮海岸へ向かう途中にある学園の前を通る度に  
思っていました。その後、私の友人がボランティアとして学園に関わるようになったこと  
をきっかけに、そこには家族と離れて暮らす多くの子どもたちがいるんだということ  
と、卒園生をサポートするいっぽの会の存在を知ったのです。

児童養護施設の子どもたちは、やむに已まれぬ家庭の事情で学園での生活を余儀  
なくされているだけでなく、18 歳となり卒園した後は手厚いサポートもな社会に投げ  
出され、未成年でありながら自分の力で生きて行かなくてはならないというハンディ  
キャップを背負っています。親を選べないが故に、家族からの助けがほとんど得られな  
い人生を歩まなければならない彼らの現実に深い悲しみを覚えた時、微力でもいい、  
彼らのために何か力になりたい、そんな思いでいっぽの会に加わりました。

私の願いは、卒園した子どもたちがいつか社会で活躍し、夫や妻、  
子どもと一緒に幸せに暮らしてゆく事です。いっぽの会の働きは  
まだまだ微力ですが、それでも私たちの活動によって、ひとりの  
人の人生が素晴らしいものになるならば、これ以上の喜びは  
ありません。

今後も引き続き、いっぽの会の活動にご理解とご支援を賜ります  
様、よろしくお願ひ申し上げます。



星野公快

(ほしのきみやす)

## 第 5 回 一宮学園で映画を観よう！ ～ 協賛を募集します～

今年の映画は 『こどもこそミライ』 です。



10月22日(土)

一宮学園体育館にて  
同日2回上映予定  
ベビールームを準備します

・・・募集にあたって・・・

開催目的

\* 理解を広げたい

一般の方に一宮学園に足を運んでいただくことで、児童養護施設の存在やはじめのいっぽの活動について知っていただく。

\* パパママを応援したい

子連れでも気兼ねなく映画を観ることができる場の提供をしたい。

ひとくち 5000 円から

同封した青色の払込書からお振込いただけます。恐縮ですが、手数料のご負担もお願いいたします。

お名前のご紹介をさせていただきます。

Facebook、ホームページ、機関紙でのご紹介と当日会場でアナウンスをいたします。匿名希望の方はお申し付けください。

余剰金は、いっぽ事業に使わせていただきます。

横浜にある「りんごの木」では、その日に園でおこったさまざまな出来事をテーマに子どもたちが自分の言葉で話し合います。一生懸命話し合っ、心のもやもやを出し合っ、結論はすぐにでないけど、子どもたちは考えます。

ここにはまったく新しい保育のかたちがあります。

「森のようちえんピッコロ」は、山梨の森の中にあります。この園の子どもたちは一日中、自然のふところに抱かれて全力を出しきって遊んでいます。それは子ども本来の姿であり、まさに人間の原点をみるようで、わたしたちに自然と人間のつながりの大切さをもう一度気づかせてくれます。

大阪の「保育所聖愛園」はインクルーシブ保育を実践している園です。インクルーシブ保育とは、ハンディのある子もいない子もみんな一緒に育ち合う保育のことです。この園の子ども同士の助け合いの姿をぜひご覧ください。そしてその保育の現場に存在する、一片の詩情に胸をふるわせてください。

「きみたちこそ未来、みんなで手をつなぐともっと大きくなるよ！」



## おふとんプレゼンター & 巣立ちグッズの提供

3月、卒園する子どものうち、1人暮らしをするひとに毎年布団セットを贈っています。

さらに、皆様からいただいた『モノ』の寄付から、希望の品物をいくつも持たせることが出来ました。ありがとうございました。

特に今年は、3月の時期に合わせて2名の方からご連絡をいただきました。加納屋薬局様からは、もれなく全員に一人用湯沸しポットと今治のタオルを購入していただきました。ミッキーのポットを見て歓声を上げていた子ども達の顔は本当にうれしそうでした。

また、森崎様からは大量の電子レンジと洗濯機を譲り受けることが出来ました。家電は1人暮らしの初期費用を圧迫するものですので、とても助かります。

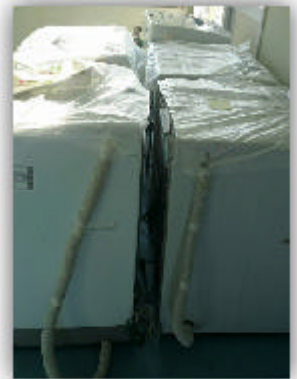
お布団プレゼンターの皆様、一年を通してモノの寄付をしてくださった皆様、加納屋薬局様、森崎様ありがとうございました。人から優しくしてもらった経験はその後の子ども達を支えていくと思います。



3月になると事務棟の廊下にお布団と巣立ちグッズが並びます。



「何がいいかしら」と一生懸命考えていただきました。



ひとり暮らしを支えてくれる洗濯機たち。

### 平成 27年度 活動報告

【会議】 運営会議を9回とその他各事業に必要な打ち合わせを適宜開催

【寄付活動】 お金の寄付、物の寄付の受付

【事業 1 貸付 給付金 その他】 新規の貸付は3名、給付金は1名、その他は3名

【事業 2 イベント】 「一宮学園で映画を観よう！」 10月24日映画「ずっと、いっしょ。」上映

【事業 3 ふるさと宅配便】 12月中旬に25名に郵送

【事業 4 おふとんプレゼンター】 3月中旬に12名に配布

【事業 5 ぶっちゃけトーク～ここを出てからのこと～】 女子会 11月27日開催 ゲスト藤原志帆子氏  
子会 12月11日開催 ゲスト副田一朗氏

【事業 6 成人を祝う会】 1月10日 1名 振袖の着付け、写真撮影、会食の実施

【その他】 相談、巣立ちグッズの配布、助成金獲得検討、講師派遣

【広報】 定期通信 8号、9号、10号の発行 ホームページとFacebook の適宜更新



## 平成 27 年度 決算報告書

	科 目	予 算	決 算	備 考
収 入	前期繰越金 (口座) (現金)	1,582,322	<b>1,582,322</b> (1,525,310) (136,760)	
	会員会費	30,000	50,000	@5000×10名
	寄付 (一般寄付) (事業2 イベント) (事業3 ふるさと宅配便) (事業4 お布団プレゼンター) (事業5 ぶっちゃんトーク) (事業6 成人を祝う会)	1,000,000	<b>1,317,073</b> (580,984) (360,089) (25,000) (331,000) (20,000) (0)	一般寄付：貸付、経費のほか に各事業の補てんに使用。 事業2：一宮学園で映画を観 よう！ 事業6：年度途中からの立ち 上げのため寄付を募れなかつ た。
	返済	90,000	539,367	貸付対象者からの返済
	雑収入	0	15,000	講師代
	<b>収 入 合 計</b>	<b>2,702,322</b>	<b>3,503,762</b>	
	支 出	事業1：支援費 (貸付) (給付金) (その他)	630,000 (300,000) (300,000) (30,000)	<b>690,610</b> (590,000) (70,000) (30,610)
事業2：イベント		150,000	109,965	一宮学園で映画を観よう！
事業3：ふるさと宅配便		90,000	46,583	セカンドハーベスト協賛
事業4：お布団プレゼンター		281,000	280,800	@20,000×13組
事業5：ぶっちゃんトーク		100,000	72,199	講師謝礼、飲食代等
事業6：成人を祝う会		0	48,891	技術ボラ謝礼、飲食代等
通信費		28,000	37,524	切手
消耗品費		45,000	32,563	用紙、インク、名入れ封筒
交通費		20,000	9,481	支援時、講演の移動費
支払手数料		1,500	2,436	
他団体会費		0	10,000	子どもシェルター帆希
雑費		50,000	5,000	
<b>支 出 小 計</b>		<b>1,395,500</b>	<b>1,346,052</b>	
次年度繰越金 (口座) (現金)		1,306,822	2,157,710 (2,020,950) (136,760)	
<b>支 出 合 計</b>	<b>2,702,322</b>	<b>3,503,762</b>		

平成 28 年 3 月 31 日

上記の通り決算報告いたします。 会計：荒木 秀子

上記決算に対する監査の結果、適正であることを認めます。 会計監査人：酒井 昌雄



# ようこそ 赤ちゃん！

一宮学園出身の男の子と女の子が、社会に出てから改めて出会い恋をしました。ほどなく妊娠し、ふたりはその命がとても大切に思えたので夫婦になりました。21歳の夫と18歳の妻がパパとママになる決意を固めたのです。これを読んでくださっている皆様は、すでにいろいろ心配になっていることでしょうか。もちろん私たちも同じです。

『リスク』という観点からいうと、リスクの高い夫婦、リスクの高い赤ちゃん、リスクの高い家族ということになります。若さもそうですが、夫も妻も決して幸福な子ども時代ではなかったことが心配の元です。残念ながら夫婦の、また親のよいモデルがありません。それに一般家庭であれば妊娠出産に手を貸してくれる親がいます。そう、赤ちゃんにとってのお爺ちゃん、お婆ちゃんです。赤ちゃんを迎えるためにはまとまったお金がかかりますから、経済面も心

ふたくちガスコンロ、冷蔵庫、食器棚、ダイニングテーブル。家財道具がそろっていません。誰かくださ～い。



心配事は尽きませんが、なにはともあれこの世に生まれてきた赤ちゃんの誕生を心から喜びたいと思います。そして、赤ちゃんを愛しそうに見つめるパパとママのことだって、私たちはとても愛しく思えるのです。パパは守るべき小さな存在を前に、ますます仕事への意欲が高まっているようですし、ママは母乳育児を目指して頑張っています。

支援するうえで弱みの精査も大切ですが、この家族の強みに注目していきたいと考えています。親と子どもの成長に合わせて支援内容は変化していくのですが、まずは産後の家事支援です。ひとりよがりな支援は家族の力を奪うことになりかねませんので、適度な距離をもちながら温かな支援を目指していきます。皆様、どうぞよろしくお願ひします。

(当事者の許可のもとに掲載しています)



## いっぽスタッフ ひとこと！

磯川麻美さん

私はアルバイトでライターの仕事をしています。

世の中で起こる少年犯罪。原因はいったいどこにあるのだろう？

家庭？学校？

そんな疑問を抱いていた矢先に、取材に訪れたのが『はじめのいっぽ後援会』。

施設を退園したあとの児童の行く末、生活状況を聞き「社会が、彼らを温かい気持ちで受け入れてあげなければ」との思いで活動しているメンバーの方々の気持ちに胸を打たれました。

施設で育ったからといって犯罪を起こすわけでは決してありません。ですが、18歳で立ち立する際に、生活をバックアップしてくれる大人が周りに1人もいなかったとしたら・・・道を踏み外してしまうには、やはりそれなりの理由と環境があると思うのです。子どもたちは生まれくる環境を選ぶことはできません。せめて施設から独立するときくらい何か力になれば、という思いで参加させていただいています。ともすれば暗くなりがちなこのテーマを明るく協議、ひとつずつ問題を解決し、いっぽずつ前進している、そんなグループです。



皆様ありがとうございました

順不同 ・ 敬称略

寄付 平成 28 年 1 月 29 日～平成 28 年 3 月 31 日

マルノ洋品店 / 田島誠 / 市川瑞恵 / 大和久賀広 / 竹内由紀子 / 嘉勢太務 / 匿名 6 名  
物の寄付 森崎諭 / (有)加納屋薬局

\*たくさんの洗濯機と電子レンジ。退園生全員に今治のタオルとミッキーの電気湯沸しポット。  
どれも心のこもった贈りものに感謝の気持ちでいっぱいです。

支援のお願い

郵便局 口座番号 00170-8-663629

**一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会**

他金融機関からの振込用口座は・・・

**店 0 1 9 当座 0 6 6 3 6 2 9**

物による支援は保管場所がないため

ニーズにあったものを頂戴したいと思います。

恐れ入りますが

まずは  までご連絡ください。



【編集後記】嬉しいニュースのコーナーは今までの『Good News Cafe』から『A good NEWS STORY』としてデザインを一新しました。この家族のストーリーは始まったばかりでグッドニュースになるかどうかは実はこれからにかかっているのですが、期待をこめてこのコーナーに掲載いたしました。頑張れっ! (hide)

一宮学園自立支援はじめのいっぽ後援会

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 389 番地一宮学園内

事務局 電話 080-6535-0977 (荒木)

E-MAIL : [hajimeno.1.2.3po@gmail.com](mailto:hajimeno.1.2.3po@gmail.com)